



平成27年5月14日

各 位

会 社 名 栗林商船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 栗林宏吉
 (コード番号 9171 東証第2部)
 問合せ先 取締役経理部長 小谷均
 (TEL 03-5203-7982)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成27年2月6日に公表いたしました平成27年3月期の通期業績予想と本日公表の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想と実績値との差異について

平成27年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	47,000	1,800	1,700	1,000	79.38
今回発表実績 (B)	46,939	1,949	1,859	1,406	111.63
増減額 (B-A)	△ 61	149	159	406	
増減率 (%)	△ 0.1	8.3	9.4	40.6	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	47,263	1,312	1,287	746	59.24

平成27年3月期通期個別業績予想値と実績値との差異 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	19,000	800	800	500	39.69
今回発表実績 (B)	18,635	956	980	634	50.40
増減額 (B-A)	△ 365	156	180	134	
増減率 (%)	△ 1.9	19.5	22.5	26.8	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	18,892	708	718	139	11.03

業績予想と実績との差異の理由

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響はあったものの海運事業で雑貨輸送の集貨に努めたこと、燃料油価格が予定していた価格を下回ったことなどによる収支への好影響もあり、営業利益、経常利益、当期純利益において予想を上回ることができました。

※ 平成27年3月期通期の業績の詳細につきましては、本日公表の「平成27年3月期決算短信」をご参照ください。

以 上